

全 宗 協

ZEN SHU KYO

いよいよ誕生!!

「(仮称)ニューリーダー部」創設 二月の理事会で正式決定へ

十一月末時点で早くも五十一人が会員へ名乗り

新しい時代には新時代を入れるのにふさわしい器を 平成三年の九州総会で提起されたものの実現をみず、懸案となっていた青年部 女性部の創設が、「ニューリーダー部」という名称で平成十九年二月の理事会で決定される見通しとなった。予定通り運べば、二月十四日の準備会を経て、五月二十二日に金沢で開かれる第二十回通常総会時点から活動をスタートすることとなる。

青年部、女性部の創設について、平成十七年四月に政 策提言委員会が同様の主旨を 安田理事長に答申した。この 提言を機に具体化への検討が 本格化した。今年三月には総 務委員会で全組合員への意向 調査を実施、さらに十月十七

日、十八日に京都で開かれた 秋の全国研修会でも全員討議 された。 全員討議は、内田総務委員 会委員長が進行役となり、安 田理事長の基調挨拶に続き、「 女性、若者に望むこと。」「ニ ユーリーダー部」の創設につ

いて「をテーマに行われ、若 い人たちの出席が多かったこ ともあって、白熱した。

その結果、参加者からは

「青年部と女性部に分けること はせず一つの組織とし、名称 は別途考える」などの条件が 付けられたものの、新しい部 を創設することについては、 拍手によってほぼ全員の賛同 が得られ、二月の理事 会で創設を正式決定する運び



全員討議は意見が相次ぎ、白熱した。マイクを手に質問する参加者

となった。

名称は「ニューリーダー部」が有力視されており、その方向で落ち着きそう。

全員討議では、このほかに も「新しい部の会員資格は女性及び青年男子とし、男性については一定の年齢制限を設ける」「何をめざす部なのか、目的を明確に」といった意見が相次いだ。創設の一切を所管している総務委員会では、これらの声を土台に最終決定案をまとめ、理事会に諮ることになっている。

新しい部が組合員の総意で創設される見通しとなったことで、執行部は十一月半ばか

紙面から

2面	秋の全国研修会
3面	仏壇コンテスト
4面	仏事コーディネーター試験
5面	合格した人々
6面	そよ風
7面	わが社のイチオシ
8面	事務局から

ら創設の準備段階として会員募集に入った。安田理事長と内田総務委員会委員長の連名で組合員全員に「(仮称)ニューリーダー部創設に伴うメンバー登録について」の推薦依頼文書が郵送された。十二月一日現在、登録者は五十一名にのぼっている。 会員申込みは、五月二十二日の金沢市での通常総会まで出来る。

「これからの業界をリードするのは 若い人たちです」

安田理事長の基調挨拶



基調の挨拶をする 安田理事長

全宗協は平成19年度が創立20周年に当たります。設立当初の頃、私は役員会で「青年部を立ち上げてみてはどうでしょうか」と、少しばかり意見を言わせていただいたことがあります。それ以来、なかなか機が熟しませんでした。

しかしながら、青年部のない業界というのは、私たちの業界ぐらいです。どの業界にも“あって当たり前”の時代となっています。その点では私たちの業界は非常に立ち遅れています。それはなぜなのかと考えますと、いうならば、今までは保守的な考えでも仕事できたことが一つあったと思います。しかし、これからはそういう時代ではありません。今後の業界は若い人たちにリードしていただかなければなりません。組合本部も立ち上げに向かって意欲を持って取り組んでいます。新しい部が設立されれば、そのための予算措置を講じる必要性も出てくるだろうと考えます。

今回の研修会には多くの若い方々にも参加をいただきました。討議する場としては大変にふさわしい場です。立ち上げの機は熟しました。名称をどうするかなど課題はたくさんありますが、組合員の皆さんの率直なご意見を期待しています。

「私の千日回峰行」に耳を傾け京都で全国研修会、三十三間堂なども見学

秋の全国研修会は、全国中小企業団体中央会の補助事業を活用して十月十七日、十八日、合宿形式で京都市の「京都ガーデンパレス」で行われ、八十九名が参加した。

今回の研修会は「女性、若手に期待する」をテーマとした全員討議が柱の一つとなったことで、女性を含む若い人たちの参加がはかたないほど多いものとなった。

初日は新しく選任された委員による委員会、千日回峰行を達成した比叡山延暦寺南山坊住職・光永覚道大阿闍梨の講演「私の千日回峰行」、(株)第一の浅野邦子代表取締役社長の「美し

くしなやかに、そしてたたか」に「女性経営術のシナリオ」の講演に耳を傾けた。

二日目は午前「女性、若者に望むこと、『ニューリーダー部』の創設について」の全員討議が行われ、午後は三十三間堂と妙法院(天台宗)を見学した。妙法院は一般非公開の寺だが、管理部長のお坊さんの講話もあり、京の秋を心ゆくまで楽しんだ。



三十三間堂で記念の1枚



「私の千日回峰行」を語る
光永覚道大阿闍梨



浅野邦子氏の講演も熱の入ったものだった



妙法院でも1枚

春の全国研修会は二月十四日に鎌倉でみどころ沢山、多数の参加を!!

平成十九年の春の全国研修会は、二月十四日(水)に鎌倉で開かれる。

当日は正午から午後一時十五分まで役員会とニューリーダー部(仮称)の準備会が開かれる。午後一時三十分から鎌倉のシン

ボルである鶴岡八幡宮を皮切りに、建長寺(臨済宗建長寺派総本山)と円覚寺(臨済宗円覚寺派総本山)も見学する。

見学のメインとなる鶴岡八幡宮では、祈祷やお札を受けることになっている。鎌倉五

山第一位の建長寺、第二位の円覚寺では三門などを見るが、円覚寺は川端康成の『千羽鶴』に登場する仏日庵、島崎藤村や夏目漱石が参禅した帰源院など、文学にゆかりの深い塔頭があることでも知られる。

見学は午後四時に終わり、四時半から六時まで懇親会が北鎌倉駅周辺で予定されている。



鶴岡八幡宮



建長寺仏殿



円覚寺の三門

研修会をどう見ているのか。事務局がアンケート調査

事務局では10月の京都での秋の全国研修会でアンケートを実施し、研修会に対する組合員の意向を調査した。

74人から回答があり、回収率は84%のほり、関心の高さをうかがわせている。

【補助事業活用・研修期間】「期間は適度であり、今後もこの事業を活用すべきである」が89%を占め、「期間が長すぎるので反対」はわずかに0.3%だった。

【講師と講演の内容】「期待通りだった」が95%を超え、「良くなかった」は0.4%だけだった。「両講師とも実体験談で素直に聞けた」が圧倒的多数だったが、「前段が長く、質問時間が少なかった」「苦勞話が多すぎた」「リズムがほしかった」といった意見もあった。

【今後採り上げて欲しいテーマ】経営・販促のテクニカル、販売ノウハウと仏事知識、

業界ブランド化、寺社との関係、仏具の飾り方(寺住職の生の声)、店舗づくり、税務・会計、日本人の心と文化など。

【希望する会場】京都が半数を超え、東京、大阪、名古屋と続く。

【全般的な感想】真摯に向き合っている組合「行動する全宗協」を肌で感じたなどの評価が大半であったが、次のような厳しい意見もあった。

情報交換の時間が少なかった 観光はやめべきである 討議は小グループ方式でないと本音がでない 若い人の参加が少ない 講師1人でじっくりやるべきである 日程に地区協をいれてほしい 「男女云々」は時代錯誤もはなはだしい 全宗協の目指すところがいまひとつはっきりしない。

全宗協創立二十周年記念式典も併せて開催 作家・五木寛之氏が記念の講演

平成十九年度は全宗協創立二十周年に当たる。大きな節目を迎えた中で、第二十回通常総会は五月二十二日(火)に金沢市の「ホテル日航金沢」で開かれる。金沢市での通常総会は初めてのこととなる。



総会が開かれる「ホテル日航金沢」

年記念式典も併せて開催されることになっており、全宗協と業界の「あす」へ向けた「決意」を新たにする総会となる。

創立二十周年記念事業については、平成十八年九月の理事会で実行委員会(顧問・相談役) 安田理事長、西春専務理事、委員長、内田総務委員会

副委員長、笠原北越地区協議会会長、池田同副会長、委員、総務委員会委員全員)が発足、記念事業の詰め作業

を行っている。

現在までのところ、式典は総会に引き続き開かれ、記念事業の発表、記念品(組合員之章)贈呈などが行われることが固まっている。作家の五木寛之氏が記念講演することにもなっている。

その後、懇親会に移り、翌日はオブショナルツアーとゴルフコンペが行われる。

かつての加賀百万石の城下町・金沢は日本を代表する観光スポットである。総会は北越を代表する古都金沢から、全国に向け「全宗協の旗印」を高く掲げるものともなる。

仏壇コンテストと仏壇フォーラムを開催

二十年二月、創立二十周年記念事業の一環として「新時代に応じた仏壇の提案」をアピールへ

全宗協創立二十周年記念事業の一環として、『こんな仏壇あったらいいなコンテスト二〇〇八』と『フォーラム全宗協の今と明日』の二つが、二十年二月に同時に開催されることになった。

開催日は、仏壇コンテストが二十年二月十三日(水)～十四日(木)の二日間。BBI(仏壇文化研究所)との共催で東京国際フォーラムが会場となる。全宗協では開催に向け、経産省と全国中小企業団体中央会

に後援を依頼している。

出展資格は全宗協の組合員、BBIの会員及び全国・地方の宗教用具の業界に所属する事業所。出展は原則として未発表製品に限り、各社三本までとしている。その場での販売は行わない。出展数は合計で百本を超えるものと期待されている。

出展は、都市型部門、唐木

ひろば 業界への貢献 そして父への恩返し

柴山仏壇(株) 代表取締役 柴山義幸



柴山義幸氏

秋の展示会が終わると、何となくホッとした思いをいつもいただきます。

四月の展示会に始まり、その準備は年明けより入り、その後も小展示会があり、アツという間に年の瀬を迎えます。

その間、よく考えると、同じ事を何十年もやってきたんだなあ、と思いながら、改めて自分の人生ってなんだろうと感じます。

特に、不満不足も無く、器、能力相応にこんなもんか、などと思いつつ、とりあえずここ

までこれたことには、周りすべてのご縁のあった方に感謝するのみです。この後も、多勢の方にたすけられながら、まだまだ先は長いので、焦らず、じっくりと歩を進めて行きたいと思えます。

また、いずれはお世話になっているこの業界に何らかの貢献ができるようになれば、私のような先代より継承した二代目という立場の者にとっても父への恩返しになるので、そうなるまで一生懸命精進に努めたいと思えます。

部門、金仏部門の三部門で創作を重視する。伝統工芸の専門家や大学教授などによる審査を経て、優秀作品には経済産業大臣賞、全国中小企業団体中央会賞(二つは現在、依頼中)、消費者投票によるカスマー賞、業者投票による全国仏壇店賞などが授与される。

日の二月十三日に同じ東京国際フォーラムで開く。このフォーラムは二十年の春の全国研修会を兼ねて開催される。全宗協とBBIはマスコミなどを通じ、一般消費者に向けたPRを展開し、「新時代に合った仏壇の提案」をアピールすると同時に、業界のイメージアップに拍車をかけたとしている。

第三回仏事コーデイネーター試験

東京・大阪の二会場で百八十二人が挑戦

資格制度スタートから三回目を迎えた仏事コーデイネーター試験は十一月十五日、東京と大阪の二会場で同時に実施され、両会場合わせて百八十二人が資格取得に挑戦した。

試験の開始ぎりぎりまで参考書に目を通す受験者、その参考書は赤鉛筆の線で埋まり……。会場はびんと張りつめた空気に包まれた。試験の結果は十二月末までには郵送で本人に通知される。

二〇〇四年十一月に第一回試験が行われた資格制度は、今回の試験を終えたことで三年目に入ったことになるが、業界内には「もっと厳しい制度に」という声もあり、さらには資格取得から五年経過した時点で行われる「更新」手続きの第一回目も三年後に迫ってきた。資格制度は節目の時を迎えたことになる。



東京・大阪会場とも、びんと張りつめた緊張感いっぱいだった



試験開始ぎりぎりまで参考書に目を通す

十八〜十九年度の地区協役員、委員会委員決まる

初の女性委員六名も誕生。「新しい風」に期待

地区協議会及び各委員会の十八〜十九年度の役員・委員が、九月六日の理事会で別掲の通り選任された。委員会では初めて六名の女性委員が誕生した。ウーマンパワーが社会を動かす時代。女性委員の誕生は、組合活動に新しい風を吹き込みそうだ。

新しい委員による初の会議は、十月十七日の京都での秋の全国研修会に先立って開かれ、平成十八年度の重点事項を協議した。主な事業は次の通り。

〔総務委員会〕 青年部（ニューリーダー部）創設 創立二十周年記念式典 平成十九年五月の通常総会で併せて行う。

〔広報委員会〕 お仏壇俳句コンテスト 仏壇の日のPR 二十年二月の仏壇コンテスト・仏壇フォーラムのPRを積極展開。お仏壇俳句コンテストはBBIから全宗協に移すもので、二〇〇七年中の実施を目指す。仏壇の日PRは「さくらの日」とタイアップする。



熱の入った委員会審議 委員会審議は時間を超過するほどだった



初の女性委員も参加して委員会討議は続いた

試験に合格し資格を手にした皆さん

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|---------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 小窪 正志 | 小久保 彰 | 国分 義一 | 黒須 宏美 | 熊岡 文子 | 窪田 清一 | 久保 仁人 | 木村 俊江 | 木村 彰 | 岸 俊江 | 川田 恵子 | 小原 幸子 | 小原 央義 | 尾崎 一郎 | 荻原 一男 | 太田 喜之 | 黄木 美千代 | 打道 公毅 | 上田 由紀 | 岩崎 美恵子 | 井上 綾子 | 板橋 博伸 | 石山 敬一 | 石坂 英史 | 石塚 力 | 五十嵐 健太郎 | 荒木 克巳 | 新井 敏子 | 青山 泰子 | | | |
| 小暮 貴哉 | 小暮 文男 | 今野 敏幸 | 佐々木 幸子 | 佐野 次郎 | 柴田 浩 | 柴田 清 | 新留 清次 | 新留 恵美子 | 杉若 昌秀 | 鈴木 豊彦 | 鈴木 豊博 | 須藤 悟 | 高橋 浩二 | 高橋 薫 | 高山 昭和 | 田中 進 | 田中 尋美 | 田中 厚史 | 東條 将孝 | 長尾 久廣 | 中嶋 けい子 | 長澤 紀子 | 中野 治之 | 西村 隆重 | 橋本 謙 | 畑 修次 | 原 寛子 | 原 由美香 | 廣瀬 毅 | 廣川 春男 | 本田 和子 |
| 松永 高志 | 松本 眞智 | 真部 浩 | 村井 敬浩 | 百武 邦能 | 森 恵美子 | 山上 正人 | 山川 美加子 | 横山 二郎 | 吉田 千八郎 | 吉田 雅俊 | 液部 直嘉 | 青木 善治 | 秋月 隆志 | 浅間 久美子 | 足立 佳友 | 足立 良太 | 油井 映心 | 荒木 英次 | 有本 快功 | 池田 和明 | 生駒 祐三郎 | 石黒 洋昭 | 石塚 康史 | 磯野 正年 | 上村 貴代子 | 魚住 朋樹 | 江頭 直行 | 遠藤 祐子 | 大城 トミ | | |
| 小笠原 智美 | 小田 知也 | 海東 重補 | 笠原 健夫 | 金高 佳一 | 上新 真人 | 亀井 隼人 | 亀谷 亜由美 | 北村 芳彦 | 久保 一 | 黒木 英利 | 黒沢 剛史 | 小島 めぐみ | 小西 哲 | 近藤 裕義 | 佐々木 史子 | 清水 紀佳 | 白川 英彰 | 白川 智浩 | 神宮司 美子 | 末崎 雅文 | 末崎 芳基 | 末平 明代 | 鈴木 葵子 | 大城 文夫 | 多田 博文 | 多田 嘉男 | 田中 康子 | 田中 智香 | 辻岡 智瑞子 | | |
| 辻垣内 浩 | 東上 敏彦 | 轟木 一博 | 轟木 智子 | 富田 博重 | 戸山 力 | 長野 雅則 | 西岡 巧人 | 西岡 昌樹 | 西崎 吉彦 | 沼田 敏彦 | 沼田 展政 | 野村 佳代子 | 箱田 篤 | 濱田 和宏 | 平山 さやか | 古川 士朗 | 細川 大雄 | 堀内 秀紀 | 堀内 信也 | 彌本 章宏 | 彌本 辰則 | 森永 正 | 森本 智絵 | 山口 登志枝 | 山本 善崇 | 吉岡 哲也 | 吉岡 和彦 | 米坂 直美 | 渡辺 弥生 | | |

想定問題をお互いに検討



問題用紙が配布される。緊張の一瞬



〔事業委員会〕 品質表示、仏壇マイスター、全国研修会、仏事コーディネーター資格試験の継続実施 仏壇コンテスト。なお、神戸総会時の分科会で出された「古仏壇・仏具の処分」については、全宗協組合員に限って「事前に読経するなど丁寧な方法を推進する」こととなった。また海外研修については、隔年実施が望ましいとの提案がなされた。

〔正常化委員会〕 不等表示については、従来通りの処理を行うことを確認し、新たに産地表示、品質表示及び公正競争表示の実態調査(アンケート方式)を検討したい旨の意向が出された。

〔会員増強委員会〕 地区内同業者について「対立から協調」「いま業界再生の時」を考えた基本に置き、委員会新メンバー間の情報交換を密にして、創立時の三百七十名達成を目指すこととした。具体的には

おためし会員の切り替え促進 各地区からの積極的な加入者推薦をもらう 仏事コーディネーター資格を楯にリクルートする 販促につながる独自のグッズの作成。

選任された地区協役員・委員会委員	地区協議会長	同副会長	総務委員	広報委員	事業委員	正常化委員	会員増強委員
北海道 東北	保志正之	小野隆市 奥山英俊	升谷昇平	佐藤晶洋	八田守立	成島秀夫 藤村義郎	保志正之 小野隆市 奥山英俊
関東 甲信	内田長祐	坂田晴義 前田平成	内田長祐 岩崎 茂 前田小夜子	山田宗宏 坂田晴義 木暮千津子	青山武史 前田平成 辻 幸明	福井明夫	小森健司 小仲正克
北越	笠原他喜雄	池田典明	関 秀道 竹澤恵子	廣川勝彦	池田典明 木本隆久	笠原他喜雄 吉田竹也	木俣 実 山口敏雄
東海	井上芳徳	菱田孝行 小長井由朗	小長井由朗	志村幹彦 山田雅子	長坂忠明 岡林靖之	三枝紀元 小室健次郎	河田栄治 柴山義幸
京滋	小堀賢一	橋本晃一	刑部正巳	三浦庸弘	小堀賢一 岸本光史	橋本晃一 吉田治弘	今井隆
阪奈 兵和	片山昭夫	濱田博邦 佐倉 弘	山中誠人 中田信浩	濱田博邦 宮坂郁子	佐倉 弘 宮岸 隆	片山昭夫 宮田伊佐夫	黒沢公雄 中造和夫
中国	高山 正	今浦公博	今浦公博 本井宗明	藤田孝夫 横田正登	三枝紀元 中原 博	高山 正 田戸孝雄	三村邦雄
四国	藤本晃史	上林良得 吉本佳正	金倉光治	森 正	今山秀人 森 正	岩佐武彦	上林良得
九州	中堂園福丸	塚本弘喜 吉川礼蔵	井ノ口敬三 木村邦子	吉丸英明 木佐木和幸	塚本弘喜	白川十郎	江頭直行

委員長 副委員長

金沢での第二十回総会、お待ちしております

金沢市 ㈱池田大仏堂 池田英津子



池田英津子さん

十月十七日、十八日、秋の全国研修会に参加させていただきました。「千日回峰行」という人間業とは思えない修行をかくも淡々とお話なさる光永覚道大阿闍梨様の講演（その後空腹でも眠くなつたので、まだまだ凡夫と悟りました）。地元金沢ではなかなか拝聴できない(株)第一社長浅野邦子様のこれまた女性の粘り強くエネルギーギッシユな人柄を感じさせた『美しくしなやかにそしてたたか』の講演。翌日、小堀様のお世話で通常拝観できない妙法院とその所管である（この歳で初めて知りました）三十三間堂の見学。学生の頃とはまた違った思いで仏像に魅

入っております。実りの秋にふさわしく、盛り沢山な二日間でした。係りの方の尽力に御礼申し上げます。その思いがさめない頃……。突然の『訃報 鶴田力様』のFAX。四月に行われたベトナムとカンボジア海外研修や上記の研修会で一緒にいたしました鶴田様の面影が心をよぎりました。それと同時に、この世の「無常」、「日々常あらず」という気持でいっばいになりました。『高齢であるにもかかわらず、一眼レフの重いカメラを首に提げ、灼熱の太陽の下アンコールワットを登り、夕陽を見に不自由な足で駆け登るお姿、その無心な情

熱には幾分か若い私には頭の下がる思いでした。心よりご冥福をお祈り申し上げます。さて、来年度、大きな節目を迎える「第二十回通常総会」は北越地区担当で、初めて金沢で開催されます。大勢の方々がご参加なされますよう心よりお待ちしております。

金沢と言えば、……加賀百万石前田利家がプロデュースした街。浅の川・犀川の二つの川にはさまれ、金沢城・兼六園・茶屋街……と伝統文化豊かな街であります。ここ数年、金沢二十一世紀美術館、JR金沢駅前のガラス張り

金沢で生まれ金沢で育つた私にとって、金沢はそれこそ空気のよくなものであります。仏壇屋に嫁ぎ、香りの専門店を営み、観光客・転勤族の人々とお話を交えることにより改めて金沢を知ることができました。また、全宗協に参加し、皆様と一緒し当地の良し悪しを思い知らされます。己を高めるためにもご主人様にお願いしつつ研修会に参加したいものです。よろしく願っています。

新しい金沢も是非ご覧下さい。いらっし！みまっし！ねえ！ほんまにいらっし！よるまっし！

組員増強好調、349名に目標の370名達成まであと一歩

組員増強が好調だ。一時は270名まで落ち込んだものの、以後は増強が続き11月末時点で349名となった。

会員増強委員会は「創立時の370名必達」を目標にかかげ、手をゆるめず組合への加入呼び込みを続けている。その努力が結実しつつあるといえる。

同委員会では「このペースだと目標は平成19年中には達成できそう」と一段の自信を見せている。

新規加入の組員の皆さん

小原央義	(有)小原仏具店 川崎市高津区久本1 5 9	(敬称略)
松川悦大	(有)松川仏壇新田塚店 福井市新田塚1 87 13	
岩崎武彦	(株)静岡物産商会 静岡市葵区常盤町3 4 13	
遠藤祐子	石経 羽曳野市南恵我之荘3 1 23	
佐々木史子	(有)志喜屋 守口市佐太中町7 20 10	
福永 稔	(株)薫寿堂 淡路市多賀1255 1	
倉田貴一	(有)倉田 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2265	
池田耕一	お仏壇のまごころ 大川市大字向島1374	
初村純子	みどりや 長崎県対馬市厳原町東里338 8	
新留清次	仏壇の法輪 鹿児島県出水市緑町49 31	
山之内幸三	(有)やまのうち 鹿児島県曾於市末吉町二之方5126	

苦情の絶えない執拗な「お悔やみ訪問」——「業界の品位にかかわります。自粛を!!」

仏壇の「お悔やみ訪問」について、遺族や遺族関係者からの苦情が絶えない。経済産業省にも訴えがあるということだ。全宗協では、遺族の「怒り」をかうような仏壇店の執拗なお悔やみ訪問は、業界の品位を失い、イメージを悪化させるだけだとして、「自粛」を強く要望している。

事務局に首都圏の男性から電話で寄せられた苦情の一例をあげてみると、「初七日も終わっていないのに、一週間にわたって頻りに訪問や電話で仏壇を売り込んでくる。

法事の際ぐらいいは勘弁してもらいたい。組合で何とか対策がとれないものか」というものもある。

平成17年4月に施行された個人情報保護法により、個人に関わる情報の「外部流失」などに厳しい目が注がれるようになったが、苦情を寄せたこの男性は「どうも葬儀屋さんから私たちの法事情報が流れているようだ」としている。悲しみの中にある遺族やその関係者にとっては、執拗ともいえる売り込み手法は耐えられないことだ。業界側は襟を正さなければならないであろう。

手提曲録

豊橋市魚町77
 (株)田辺佛具店
 電話0532 52 5190

携帯用に手軽に持ち運びできます。軽自動車にもトランクにも入り、片手で運べるコンパクトさです。しかも重厚にして荘厳さがただよう待望の曲録です。総木製品朱塗、本金メッキ厚金具打、レザー専用ケース付。高さは組立が100cm、折込70cm、前幅は組立、折込とも60cm、奥行きは組立53cm、折込21cm。参考上代¥150,000



わが社の イチオシ 新商品紹介

知恵とアイデアを絞ったわが社の“イチオシ商品”をご覧ください。お問い合わせは直接当社にお寄せ下さい。お待ちしております。数字は参考上代です。今回は東日本地区の小売業140社に呼びかけました。次回は別の業態のお店にお声をかけます。

新型金沢仏壇16号

金沢市安江町5 7
 (株)池田大仏堂
 電話076 222 5550

伝統的な製作工程を踏襲しながらも、障子の彫刻や前柱を除いて外観をすっきりさせ、従来の金沢仏壇のデザインからの脱皮を図った現代的な作風の新型金沢仏壇です。扉の内側や引戸には、伝統的な図案でありながらも現代家屋にも調和する幾何学的な花丸模様が蒔絵にて美しく描かれています。高さ135cm、幅52.5cm、奥行き46.5cm。税込み価格(仏具付き)¥1,260,000



供養壇 MAGATAMA

岐阜県高山市三福寺町369 7
 (有)仏壇工芸 ほりお
 電話0577 33 6686

厨子と勾玉(まがたま)をイメージしたモダン調です。サイズや色合い、取手の宝石もオーダーできます。タモ材総無垢、自然塗料ナチュラル仕上げです。高さ35cm、幅35cm、奥行き27cm。参考上代¥115,500



無料法律相談

森顧問弁護士が組合員からの電話あるいはFAXによる無料法律相談に応じます。ご希望の方は下記へ直接ご連絡ください。

森・吉村法律事務所



森 忍顧問弁護士

弁護士 森 忍(はかる)
 〒541 0043
 大阪市中央区高麗橋1-5-14
 メゾンドール高麗橋605
 TEL 06 6222 3700
 FAX 06 6232 0200

飛騨春慶上置

岐阜県高山市桐生町2 105
 (株)飛騨佛壇 工匠館
 電話0577 35 3038

檜の木地を生かした琥珀色と金粉を使った仕上がりとなっています。歴史と近未来を融合したお仏壇といえます。台幅45cm、高さ63cm、奥行き37cm。参考上代¥400,000



50代前開 宣字型須弥壇

新潟県長岡市関原町5 5
 (有)廣川佛壇店
 電話0258 46 2020

須弥壇金具にギリシャの葡萄唐草紋、ペルシアの蓮華紋唐草、中門へ龍を施し、仏教東西文明の融合を表現しました。総金粉仕上げ、板戸石目塗り、総透かし金具、蛟龍銅地打出しです。高さ143cm、幅66cm、奥行き59cm。参考上代¥3,000,000(消)



事務局からのお知らせ

1. 経産省及び全国中央会からの通知・連絡等

高齢雇用安定法改正（18・4・1施行済み）

定年を65歳未満にしている企業は、定年制廃止か定年の年齢引き上げ・雇用継続のいずれかの方法で、段階的に65歳までの雇用確保を義務付けるもの。

消費生活用製品安全法改正（19年施行予定）

製品事故（死亡・傷害・一酸化炭素中毒・火災等）が起きた場合に、メーカー、輸入業者等に国への報告を義務づけるもの。懲役刑の罰則もあり。

その他の広報依頼

障害者雇用促進 ベンゾトリアゾールの第1種特定化学物質指定 中小企業組合士制度 飲酒運転根絶 18年

工業統計調査（4人以上の従業者）協力依頼

2. 印刷物等を有償頒布しています

「日々感謝」のポスター、ステッカー、リーフレット
 国産仏壇統一表示タグ、ポスター
 父母恩重経
 地区別仏壇カタログ「お仏間」
 図書『浄土宗』『仏壇仏具ガイドンス』
 テープ『仏具のまつり方』
 ビデオ『金箔のできるまで』『広島仏壇のできるまで』
 『京念珠』『大阪念珠』

価格等は事務局にお問い合わせください。

訃報

ご逝去	ご逝去日	組合員
鶴田 力様	18年10月23日 享年78歳	トキタ商事(株)・鶴田力様 ご本人
清水 誠様	18年11月14日 享年90歳	(株)清水康益社・清水鐵夫様 ご尊父
佐藤幸次郎様	18年11月21日 享年91歳	(株)佐藤神仏具店・佐藤兼次様 ご尊父
鳥居 知治様	18年12月10日 享年90歳	(株)鳥居ローソク本舗・鳥居邦夫様 ご尊父

「ニューリーダー部（仮称）創設」についての全員討議から



進行役の
内田総務委員会委員長



女性もマイクを手に
活発な意見



誰もが熱心に討議に加わり、白熱した

「老」は経験を持つ。「青」は経験は少ないが、着想、発想力は豊かだ。「老壮青」がバランスよく組み合い、時代を切り開いていかなければなるまい。それは仏壇仏具業界に限らず、どの業界にも言えることであり、生き残りをかけ、どの企業も「青」の力を引き出すと懸念だ。全宗協は来年度が創立二十周年。いうならば「羽ばたきの時」である。今進められている改革が大きく舞い上がることを願ってやまない。

岡崎と飯山を訪ねた後、十日ほどたつて開かれた全宗協の秋の全国研修会。今回の研修会は、「ニューリーダー部（仮称）創設」をめぐる討議が柱の一つとなったことで、若い人たちの姿がいつになく目立ち、活気あふれた光景だった。女性の姿も多く、討議は「白熱」した。これまで話し合いといえば「老」に偏りがちだったように思える。それが、「壮」「青」もうまくかみあつたかつてない研修会となったといつてよい。

「老」は経験を持つ。「青」は経験は少ないが、着想、発想力は豊かだ。「老壮青」がバランスよく組み合い、時代を切り開いていかなければなるまい。それは仏壇仏具業界に限らず、どの業界にも言えることであり、生き残りをかけ、どの企業も「青」の力を引き出すと懸念だ。全宗協は来年度が創立二十周年。いうならば「羽ばたきの時」である。今進められている改革が大きく舞い上がることを願ってやまない。

三河仏壇と飯山仏壇の「いま」を見ようと、愛知県岡崎市と長野県飯山市を訪れた際、心おどる光景に出会った。岡崎も飯山とも「ふる里の伝統工芸」である仏壇を見学する小学生達でいっぱいだったのだ。ノートを手に、次々に質問する子どもたち……。伝産地でこれほど大勢の子どもたちを目にしたのは、私にとっては初めてのことで、何とも嬉しかった。

岡崎市で小学生に出会ったのは第十七回三河仏壇展示会の会場でのことだ。展示会は四日間いわつて開かれたが、主催した三河仏壇振興協同組合によると、市内の小学校から見学に訪れた子どもたちは、四日間で七百人にものぼつたという。さらに驚いたのは飯山市で出会った百人ほどの小学生たちだ。バス三台で朝七時に岡谷市から来たというのだ。岡谷市は飯山とは約百キロ離れている。飯山に着くまで二時間かかったそうだ。

今、小学四年生は授業の中で、ふるさとの伝統工芸を勉強している。小学生たちはその授業の一環として三河仏壇と飯山仏壇見学に訪れたわけだが、飯山市では、小学生たちは幾班かのグループになつて、「仏壇通り」に軒を並べる仏壇店を一軒一軒回り、伝統産業会館では、飯山仏壇の製作工程のビデオも見るという熱心さだった。

需要の落ち込みなど、伝統仏壇はさまざまな課題を抱える。後継者を育てようにも、仕事がなくなりつつある中では育てることもできないうという嘆きを聞く。伝統仏壇は「踏ん張りどころ」にきていると言えるのかも知れない。それだけに三河と飯山の伝統の金仏壇を目を輝かして見入る子どもたちの姿は、何かしら「暗雲」を吹っ飛ばすようなものがあった。「頑張れと、子どもたちにエネルギーをもらった感じです」という三河仏壇の組合幹部の一言が強く耳に残っている。

編集後記